

TGR TEAM ZENT CERUMO

2020 AUTOBACS SUPER GT Report

たかのこのホテル FUJI GT 300km RACE

第1戦 富士スピードウェイ

ZENT GR Supra

#38 立川祐路／石浦宏明

◆ 7月19日（日） QUALIFY／RACE

公式予選結果 5位

決勝結果 4位

霧の影響もあり、想定よりも短い時間で慌ただしく ZENT GR Supra の確認を強いられた7月18日（土）の公式練習から一夜明けた7月19日（日）。心配された荒天はなく、SUPER GT 第1戦富士の決勝日は早朝は曇天、そして少しずつ雲が切れ、ひさびさの晴れ間が見えはじめるなかで迎えた。TGR TEAM ZENT CERUMO にとっても待望の晴れ模様だ。



この日は午前9時30分からGT300クラスの公式予選Q1がスタート。午前10時03分からGT500クラスのQ1が始まった。TGR TEAM ZENT CERUMOは、Q1のアタッカーを石浦宏明に任せた。まだGT300の予選Q1時は濡れている部分もあったため、タイヤ選択を悩む部分もあったが、ソフトめのタイヤを履いた石浦はまず1分34秒台から1分31秒台に縮め、アタックに入っていく。石浦は5周め、1分27秒308というタイムをマークし、5番手につけQ2に控える立川祐路に繋いだ。

GT300クラスのQ2をはさみ、迎えたGT500クラスのQ2。ZENT GR Supraのコクピットに乗り込んだ立川は、タイヤを温めながらペースを上げ、石浦と同じく5周目に1分27秒352というタイムをマークしてみせた。ただ、ライ



TGR TEAM ZENT CERUMO

バルは1分26秒台に突入しており、いまひとつハードめのタイヤのフィーリングが良くなかった ZENT GR Supra の順位は5番手。決勝を見すえ悪くない位置ではあるが、もうひと声伸びが欲しい。午後3時からの決勝を前に、TGR TEAM ZENT CERUMO はさらなる改良を ZENT GR Supra に加えた。



午前中は晴れ間も広がったものの、昼すぎには雲が出はじめ、迎えた午後2時40分からのウォームアップ。ZENT GR Supra はふたたび立川がコクピットに乗り込み、レースに向けたセットアップの確認を行っていく。その間にふたたび晴れ間も広がり、今度は初夏の陽気が富士

スピードウェイを包んだ。

ZENT GR Supra のスタートドライバーは立川。今回はパレードラップもなく、1周のフォーメーションラップのみでスタートが切られていく。立川は5番手をキープし前を追うが、後方で#12 GT-R と#64 NSX-GT がクラッシュ。コースサイドにストップしたため、早くも2周目にセーフティカーが導入された。

レースは6周目にリスタートが切れ、立川は前を走る4番手の#36 GR Supra を追っていく。本来、立川のレースは序盤からひとつずつポジションを上げ、トップを狙っていくもの。ただ、この日は5番手を守ってはいるものの、ポジションは変わらず。17周目には前を走っていた#8 NSX-GT を見事にオーバーテイクし4番手に浮上したが、トップ3とはやや差が開いていた。

TGR TEAM ZENT CERUMO はレースがやや膠着しはじめた28周を終え、立川をピットに呼び戻す。とはいえ、ZENT GR Supra の背後につけていた#17 NSX-GT、#8 NSX-GT が25周を終えピットインしており、アンダーカットされてしまう懸念があった。準備



ZENT

GR TOYOTA
GAZOO
Racing

BRIDGESTONE

PMU
RACING PADS

WAKOS

ADVICS

HEISEL

asics

Jms

T-SELECT

トヨタ東自大

EBS

SHOWA
BRAKE FLUID

M2
MOTOR OIL

TGR TEAM ZENT CERUMO

を整えていた石浦と TGR TEAM ZENT CERUMO は、アンダーカットされないように綿密に計算を行ったうえでのピットインだった。

この狙いは功を奏し、ピットの迅速な作業、そして石浦が履いたユーズドのソフトタイヤの温まりの良さも手伝って、#8 NSX-GT に対してマージンを築いて4番手で石浦を送り出すことに成功する。しかし 36 周目、GT300 クラスの#360 GT-R が接触によりスピンを喫し、13 コーナーのコース中央でストップを喫してしまったため、まさかのセーフティカー導入となってしまった。



上位は接近したものの、後続との差も近づいてしまい、せっかく築いたマージンが失われてしまった。石浦は43周目のリスタートの後、ふたたび前を追うが、今度は僚友 WAKO'S 4CR GR Supra を駆る坪井翔が近づいてくる。石浦は必死に坪井を抑えるが、後方から好ペースで

追いついてきた WAKO'S 4CR GR Supra を抑えきれず、ペースが鈍っていた#100 NSX-GT との三つ巴のバトルの末、#100 NSX-GT こそかわしたものの、WAKO'S 4CR GR Supra の先行を許し、順位は4番手となった。

石浦はその後も粘り強く走行が続けたが、順位は変わらず4位でチェッカーを受けた。結果的には、GR Supra がトップ5を占め、ZENT GR Supra もその一翼をになうかたちにはなったが、やはり開発を続けてきたふたりにとっては、せめて表彰台で終えたかったレースだけに悔しさも残った。

しかし、新型コロナウイルスの影響によるタイトなスケジュールのなかで、第2戦はまたすぐにやってくる。チームのホームコースである富士スピードウェイで、ふたたび TGR TEAM ZENT CERUMO はチーム一丸となって勝利を狙っていく。

ZENT

GR TOYOTA
GAZOO
Racing

BRIDGESTONE

PMU
RACING PADS

WAKO'S

ADVICS

HEISEL

asics

Jms

T-SELECT

トヨタ東自大

EBS

SHOWA
BRAKE FLUID

MOTUL
RACING OIL

TGR TEAM ZENT CERUMO

ドライバー／立川祐路

「公式予選では Q2 を担当しましたが、ハードめのタイヤが想定よりも温まりが悪く、思ったよりもグリップが出なかったのが少し悔しいところですね。決勝レースでは、なるべく序盤から順位を上げていこうと臨みましたが、もう少し順位を上げ、トップに食らいついて石浦選手に渡したかったところでした。その点は少し悔しいですね。正直、少しペースが足りませんでした。次はまた同じ富士スピードウェイでのレースですし、今回良くなかった部分をきっちりと修正して次戦に臨みたいと思います。応援ありがとうございました」



ドライバー／石浦宏明

「朝はまだサーキットも濡れていたのでタイヤ選択は悩みましたが、僕は公式予選にソフトめのタイヤで臨みました。他車に引っかけってしまったりと、完璧なアタックではなかったですが、Q1 を突破することはできたので、そこは自分の仕事ができたと 생각합니다。レースでは、立川選手が走っているのを見て、少し苦しいのかな……と思っていましたが、タイヤ選択がうまくいき、僕に交代してからはアウトラップも早く、いい戦略を採ることができましたが、残念ながらセーフティカーが出てしまい、いまひとつかみ合いませんでしたね。今回はライバルに対してペースで劣る部分も見えたので、次戦に向けてどう改善するかが大事ですし、SUPER GT は開幕が 4 位だからダメか……といえはそうでもないレース。今回学んだことを次戦に活かしたいと思っています」



村田淳一監督

「GR Supra のデビューレースで、37 号車、さらに GT300 でも優勝を飾ったので、まずはおめでとうございますと伝えたいですね。そのなかで我々が優勝とらなかったのは非常に残念ですが、それは足りない部分があったからだと思っています。全体的にスピードが足りない週末になってしまいました。ドライ



TGR TEAM ZENT CERUMO

バーとエンジニアが頑張ってくれ、取り戻すことはできてはいましたが、上位を占めた GR Supra 勢の 6 台のうち 4 位ということなので、次戦富士に向けて車両のセットアップ、タイヤの見直しと、全体的に底上げをして、ライバルに追いつき、追い越せるように努力を重ねていきます。応援ありがとうございました」



ZENT

GR TOYOTA
GAZOO
Racing

BRIDGESTONE

PMU
RACING PADS

WAKOS

ADVICS


HEISEL

asics

Jms

T-SELECT

 トヨタ東自大

BBS

SHOWA
BRAKE FLUID

MT
MECHANICAL WEAR

TGR TEAM ZENT CERUMO

公式予選結果

Rank	Car No.	CarName	Q2 Time	Q1 Time
1	37	KeePer TOM'S GR Supra	1'26.550	1'27.052
2	8	ARTA NSX-GT	1'26.665	1'26.433
3	36	au TOM'S GR Supra	1'26.794	1'27.409
4	100	RAYBRIG NSX-GT	1'26.905	1'26.937
5	38	ZENT GR Supra	1'27.352	1'27.308
6	39	DENSO KOBELCO SARD GR Supra	1'27.397	1'27.356
7	3	CRAFTSPORTS MOTUL GT-R	1'27.439	1'27.022
8	16	MOTUL MUGEN NSX GT	1'28.085	1'27.306
9	17	KEIHIN NSX-GT		1'27.421
10	23	MOTUL AUTECH GT-R		1'27.435
11	14	WAKO'S 4CR GR Supra		1'27.452
12	19	WedsSport ADVAN GR Supra		1'27.697
13	64	Modulo NSX-GT		1'27.816
14	12	CALSONIC IMPUL GT-R		1'27.968
15	24	REALIZE CORPORATION ADVAN GT-R		1'28.137

ZENT

GR TOYOTA
GAZOO
Racing

BRIDGESTONE

PMU
RACING PADS

WAKOS

ADVICS


HEISEL

asics

Jms

T-SELECT


トヨタ東自大

BBS

SHOWA
BRAKE FLUID

MZ
MOTOR OIL

TGR TEAM ZENT CERUMO

決勝結果

Rank	Car No.	CarName	Laps	BestLapTime
1	37	KeePer TOM'S GR Supra	66	1'29.086
2	36	au TOM'S GR Supra	66	1'29.351
3	14	WAKO'S 4CR GR Supra	66	1'29.601
4	38	ZENT GR Supra	66	1'29.587
5	39	DENSO KOBELCO SARD GR Supra	66	1'30.313
6	100	RAYBRIG NSX-GT	66	1'29.478
7	3	CRAFTSPORTS MOTUL GT-R	66	1'30.517
8	8	ARTA NSX-GT	66	1'29.619
9	19	WedsSport ADVAN GR Supra	66	1'30.609
10	24	REALIZE CORPORATION ADVAN GT-R	66	1'31.191
11	23	MOTUL AUTECH GT-R	65	1'30.611
12	16	MOTUL MUGEN NSX GT	63	1'30.133
13	64	Modulo NSX-GT	62	1'31.371
	17	KEIHIN NSX-GT	28	1'29.783
	12	CALSONIC IMPUL GT-R	0	

ZENT

GR TOYOTA
GAZOO
Racing

BRIDGESTONE

PMU
RACING PADS

WAKOS

ADVICS


HEISEL

asics

Jms

T-SELECT

 トヨタ東自大

BBS

SHOWA
BRAKE FLUID

MV
MOTOR OIL